

平成27年度 事業報告書

大慈ほまれ幼保連携型認定こども園

1. <法人ビジョン>
 - ①経営の強化
 - ②サービスの質の向上
 - ③教育システムの充実

2. <ビジョン>
 - ①より良い環境作り、(家庭的な雰囲気の中で過ごす)
 - ②一人一人を大切にする保育の継承
 - ③保育者の人間力、保育力の向上
 - ④人材確保

3. <基本方針>
 - ①保育指針の内容を遵守し、家庭的な雰囲気の中で、保育目標に向かってみんなで協力して保育を行う。
 - ②職員一人一人が自己研鑽を行い、資質向上に努める。
 - ③安全を第一に考え、子どもが安心して過ごせるようにする。

4. <中長期計画>
 - ①保育園を地域に知っていただき、交流が持てるように努める。
 - ②子どもや保護者に寄り添い、安定した保育を行う。
 - ③楽しみながら身に付くように教育を行う。
 - ④研修の充実を図る。
 - ⑤新制度の開始に伴い、保護者が安心して保育園を利用出来るように配慮する。

5. <平成27年度目標>
 - ①地域に保育園を知ってもらえるようになり、交流・信頼関係が築けるよう積極的に関わる。
→近くの公立の保育所や区の5歳児交流会、リハビリテーション専門学院との交流実施
 - ②保育理念をよく理解し、子どもや保護者に寄り添い、信頼関係を築き友育てをする。
→情報を発信したり、相談を受けたり、積極的に声を掛ける機会を作った。即日対応を常に意識し、より良い関係に努めた。
 - ③特色・サービスの視覚化を図る。
→ホームページの「ほまれっこだより」の更新を行事毎に行った。
 - ④子どもが楽しんで取り組み、総合的に成長を促す
→体力作りで、サーキット遊びや律動を決まった時間や決まった日に行い、積み重ねを強化した。
 - ⑤運動遊びや律動を全員で行い、子どもの体力作りを強化し、職員力を高め合う。
→律動と共に運動遊びを3園で再度見直し、次年度に向けて計画を立て直した。
 - ⑥職場内、職場外研修を行い、全職員で共通理解し、向上を図る。
→会議時の研修報告により、共通理解し、保育園全体で取り組むことができた。

6. <広報>

- ①職員紹介を発行し、保護者と職員との交流を深めた。
- ②本園ホームページの更新を行った。
- ③園開放、子育てひろばにて、保育園を知っていただいた。
- ④園外避難訓練時、腕章をつけて、地域の方に知っていただいた。
- ⑤園開放のポスターを郵便局や病院に掲示させていただいた。
- ⑥散歩の行き帰りにお店の方に挨拶をしたり、声をかけていただいたり、知っていただけるようになった。

7. <職員研修>

- ①職員の脂質向上のため職員会議やミーティング後に研修・伝達講習を行った。
- ②保育計画を見直し、書類の書き方、また気になる子の対応や言葉の掛け方を検討した。
- ③造詣遊び・運動遊び・律動など再確認し、年齢・時期にあったものを計画した。
- ④11/23 大慈保育園・兵庫保育園と合同で、午前中は、大慈の高橋園長、大慈ほまれの西野園長・スパーバイザーの講話を聞き、午後は安田式の運動遊びの研修を行った。

8. <育児支援>

- ・お誕生日会・園開放・子育て応援事業時に育児相談や健康相談を行った。

9. <災害・防犯避難訓練>

- ・毎月1回火災・防犯訓練を行った
- ・年4・5回けいれん・SIDS・誤食・誤飲時の訓練を行った。
- ・10月16日消防署の方に来ていただき、消火訓練を行った。
- ・9月15日交通安全教室・警察の方に不審者になっていただき、防犯訓練実施。
- ・11/5、1/14にシエクアウト訓練と津波訓練をし、大倉山公園まで避難訓練実施。

10. <健康診断・衛生>

内 容	実地日 (回数)	業者等
健康診断	5月・10月	浪方医院
眼科健診	11月	中堀眼科医院
歯科健診	6月・2月	太田歯科医院
耳鼻科健診	11月	野村耳鼻科医院
ぎょう虫検査	2月	兵庫県予防医学協会
尿検査	6月	兵庫県予防医学協会
調理室の消毒	毎月 (1回以上)	サニックス株式会社
グリストラップ清掃	年5回	アーテックサーキュレーション(株)

1 1. 《行事内容》

月	行事名
4月	入園式
5月	クラス懇談会 5歳児大慈保育園といちご狩り お楽しみ会
6月	お楽しみ会 中央区7ヶ所公私5歳児交流 トライやるウィーク 実習生受け入れ
7月	プラネタリウム(5歳児) 七夕祭り プール・水遊び開始 リハビリ専門学院との交流
8月	夏まつり(同園会含む) ワークキャンプ ^o 受け入れ
9月	運動会湊町公園に慣れる。
10月	運動会 お泊り保育 遠足 中央区5歳児交流 おいもパーティー
11月	作品展 お楽しみ会 保育参観ウィーク
12月	音楽会 クリスマス会 おもちつき
1月	よいこの集い 六甲山そり遊び遠足(大慈の5歳児と)
2月	豆まき 生活発表会
3月	お別れ遠足 お別れ会 卒園式 交流

1 2. 《月間行事》

行事名	
ECC英語教室3歳児クラス(月1回)	ほまれっこくらぶ(月2回)
ECC英語教室4・5歳児クラス(月2回)	子育て広場(月一回)
お誕生日会(月1回)	

1 3. 《平成27年度在籍児一覧表》

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	充足率
4月	8	13	17	14	11	9	72	120%
5月	8	13	17	14	11	9	72	120%
6月	8	13	17	14	11	8	71	118%
7月	8	13	17	14	11	8	71	118%
8月	8	13	17	14	11	8	71	118%
9月	8	13	17	14	11	8	71	118%
10月	8	13	17	14	11	8	71	118%
11月	8	13	17	14	11	9	72	120%
12月	8	13	17	14	11	9	72	120%
1月	8	13	17	14	11	9	72	120%
2月	8	13	17	14	11	9	72	120%
3月	8	13	17	14	11	9	72	120%
合計	96	156	204	168	132	108	859	119%

1 4. 《リスクマネジメント報告》

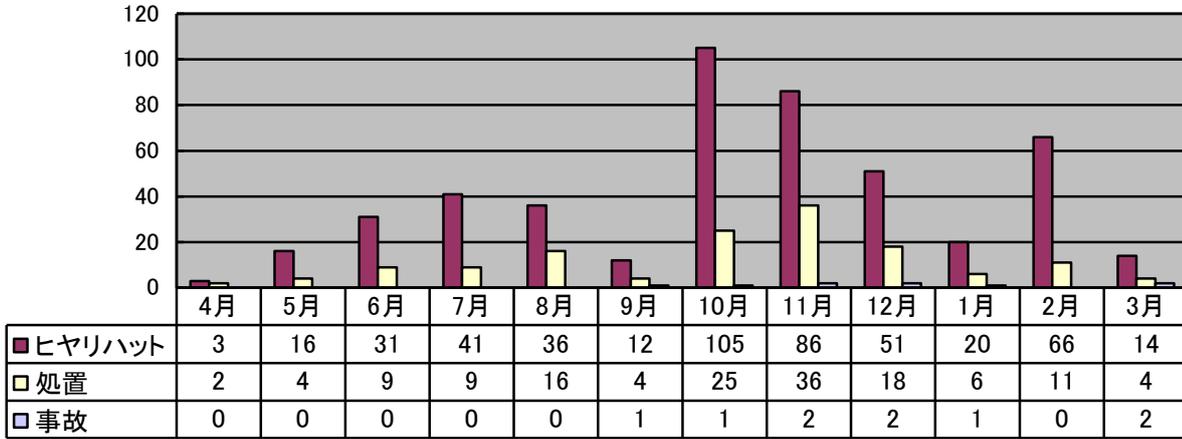
※医師の診察を受けた怪我を事故と定義する。

※ドキドキの件数は多いが、実際受診をした内容は少ない

平成27年度				
報告件数	合計件数	事故	ドキドキ	処置
	642件	9件	440件	199件

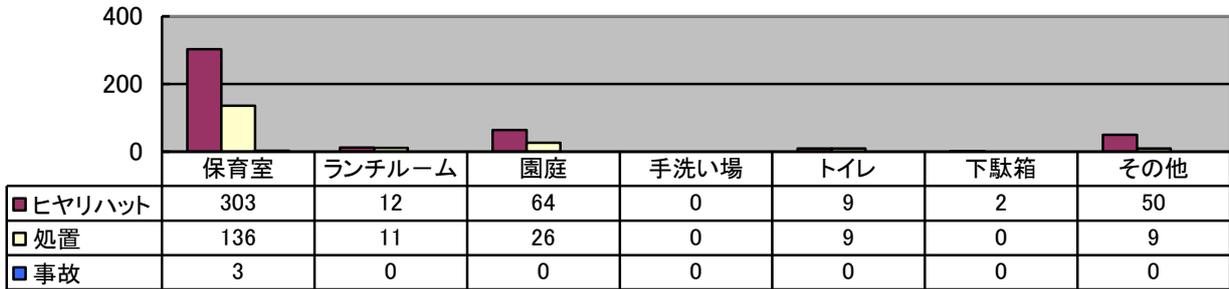
①月別発生件

→運動会などで園外へ出かける機会が多い10月・11月にヒヤリハットが多かった。



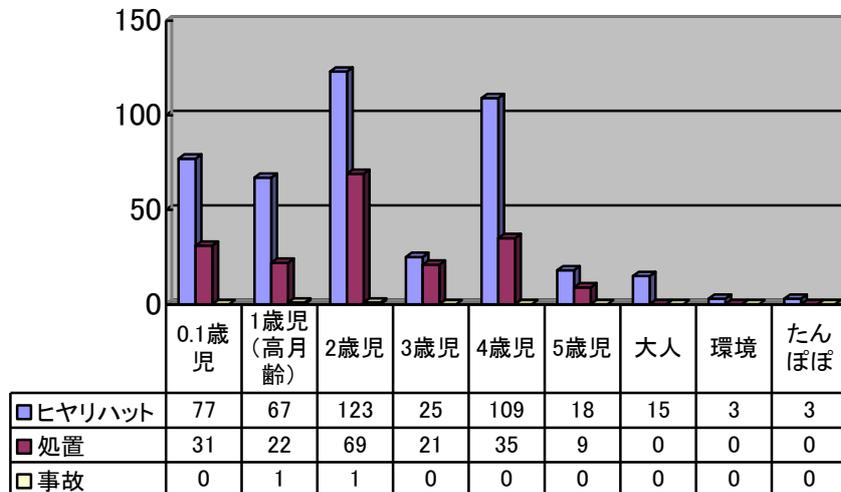
②場所別件数

→一番長くいる保育室が多かった。



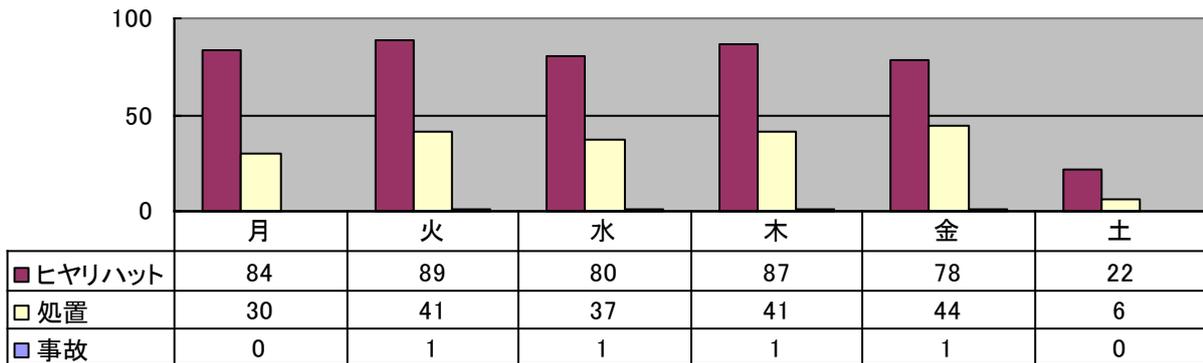
③クラス別発生件数

→友達との関わりの中で叩いたり押ししたりによるヒヤリハットが多かった。



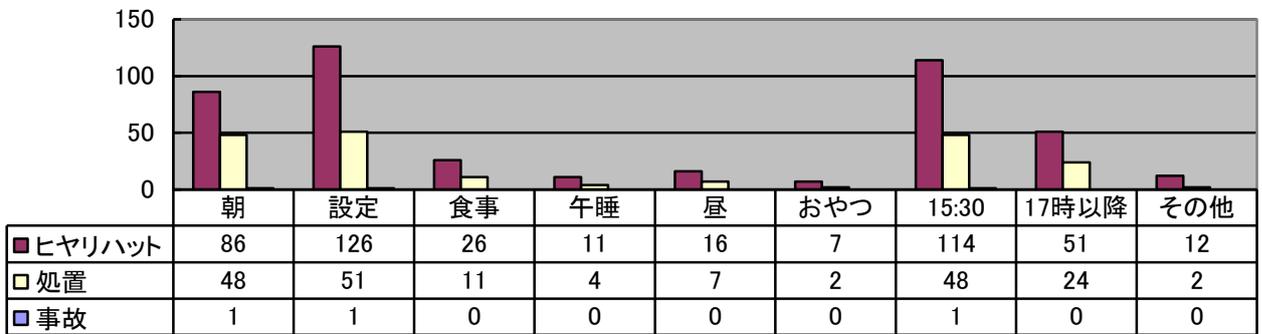
④曜日別発生件数

→常に注意して見ていきヒヤリハットや気付いたことなど報告するようにする。



⑤時間帯別発生件数

→設定・15:30の時間に多い。

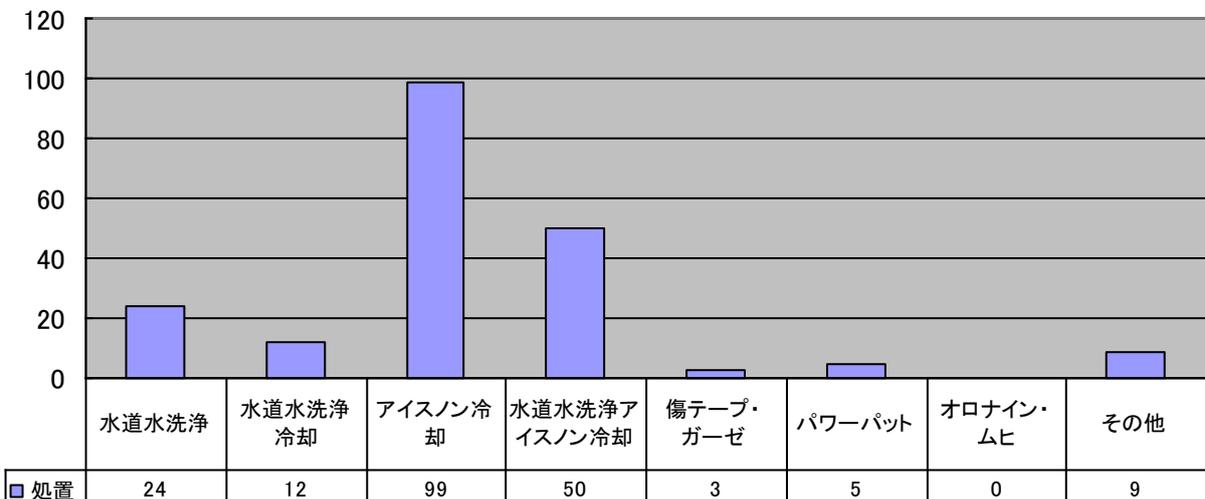


⑥事故発生内容 3件 (1歳児・2歳児)

- ・走っていて転倒し、手をつかず床で口を打ち受診→歯には影響なし。
- ・右の生えかけている奥歯から出血し受診→ばい菌が入り腫れていた様子。
- ・他児に押され転倒した際に、髪の毛をくくっていた髪留めで頭に傷がいく。受診→異常なし。

⑦処置内容

→アイスノン冷却が多い。



⑧まとめ

- ・乳児の噛みつき、すこやか児との関わりの中で多く出ている。些細なことでも情報を共有し、職員全員が把握して危険なことを減らしていくように心がけたい。
- ・後半乳児が友だちとの関わりから、噛み付き、引っかきの行動が多くなったので、未然に防げるように必ず付くようにし、仲立ちをしながら遊ぶ様子を見守りたい。

15. 《苦情・相談結果報告》

苦情の定義→施設長が直接対応した件を苦情とする。

○報告件数・・・5件

- ・8月—1件（子どもの声がうるさいと電話あり）
- ・11月—2件（すこやか児に対して一叩かれる一年下のクラスの保護者より。
当保護者にも謝っていただいた。
- ・2月—1件 気になる子どもで、事前に母親と祖母にも参加が難しいかもしれないと日常の遊びの様子を個別懇談を通して伝えて、保護者も納得してた様子であったが、生活発表会当日出なかったことに不満。
- ・3月—1件（すこやか児に対して一叩かれる、引っかかれる）同クラスの保護者より。
当保護者と会って話し合う場を設けた。

<解決状況>

- ・声の苦情は前年度も2件あり、屋上に上がる時間や降りる時間を考慮していた。
それ以後なし。
- ・すこやか児に対しては、できるだけ苦情のあった子どもには要望どおり近づけないように今まで以上によく見ていくことを職員全員で意思統一する。何かあったときは両保護者にも伝える。
- ・発表会翌日に保護者との個別懇談をし聞くと、しないと思ったが出ないと聞いていなかったもので、知らせてほしかったとのこと。言葉のニュアンスで少し誤解が生じたので、相手にはっきりわかるように言葉の使い方に気をつけ、伝えるようにしていく。

16. 《総括》

開園して2年が経ち、保護者や子どもたちも、保育園としての流れが出来ており、園らしい生活が出来るようになり、園生活を楽しんでいる。

駅が近く、通勤に便利で、正規で働いている人が多く、保護者も協力的である。人数も少ない特色を活かし、「みんなで みんなを育てる 大家族」を意識して一人一人に寄り添って丁寧にかかわり、保育を考えていくことを意思統一した。

年度末のアンケートでは、保育方針や保育士の対応に好感がもたれ、感謝の言葉が多く、安心して預けていることを実感した。今後このことに甘えず、よりいっそう信頼関係が築かれるよう職員一人一人が子ども達のために丁寧に保護者に寄り添って、共育てをしていきたい。

また、地域に保育園を知っていただくようになり、実習生・ワークキャンプ・トライやるウィークも受け入れ、交流を深めている。地域における保育園の役割りを全職員が理解し、一時保育も充実させ、子育て家庭への支援も行っていきたい。地域の子育てコミュニティーの拠点となるよう努めていきたい。